

環境エネルギーに関する理解促進・活用知識習得研修

【研修実施時間：10 時間 受講料：¥300,000／1 名】

【研修の狙い】

- ・環境エネルギーに関する理解を深め、企業における環境エネルギーの余剰を削減、環境保全を推進する政策の運用に対応していくための知識を習得する。
- ・環境エネルギーの使用用途、コスト、運用手法、管理手法などを正確に把握することで、余剰を削減し、環境に配慮した企業運営体制を完備、推進していくための体制を整える。
- ・省エネ施策がもたらす企業側におけるメリットについて理解し、労働環境と環境エネルギーの関係性を理解したうえで、実施可能な具体的アクションの構築を行うための知識を習得する。

第 1 部 環境・エネルギー理解知識 導入編

地球温暖化、気象変動、温室効果ガスなどに関する知識を習得し、環境エネルギー施策について理解するための下地を整える。

第 2 講 職場のエネルギーについて考える

電気エネルギーと就労環境の関連性についての理解を深め、公共フィールドにおける電気の使用用途や、電気エネルギーに関するコスト削減について学ぶ。

第 3 講 環境・エネルギー理解知識 実践編

エネルギー消費量の可視化手法について理解したうえで、CO2 排出削減や電気消費におけるコスト削減に関する具体的な施策についての知識を習得する。

第 4 講 環境・エネルギー管理知識 導入編

社会的見地からエネルギー管理の重要性について、具体例を挙げながら学習していく。

第 5 講 環境・エネルギー管理知識 実践編

労働者の視点から電気消費トレンドに関する考察を行う事で、運用改善による平準化、それがもたらす企業利益などについて学習し、労働環境における具体的アクションを構築する。

第 6 講 運用改善による省エネの実践

省エネがもたらす企業利益について、更に踏み込んで検証を行い、理解を深める。
特に電力消費の多い製造業を例に設備ごとの電気消費量計測方法、工場における電力消費パレート図について学習する。

第 7 講 エネルギー管理の手順書の作成

省エネオペレーションにおけるターゲティング手法を習得し、適切なエネルギー管理の手順書を作成するための専門的知識を習得する。

第 8 講 環境の経済学

環境について経済学の観点から検証を行い、理解を深める。